令和８年度花巻市市勢功労者を決定しました

令和８年度の花巻市市勢功労者を次の５名に決定しましたので、お知らせします。
本表彰は、花巻市において公共の福祉と市勢の進展に尽くし、功績が極めて顕著な方を表彰するもので、市の表彰としては、最高位の表彰となります。受賞者は、市が市表彰選考委員会に諮問し、同委員会からの答申を受けて決定したものです。
表彰式は、１１月３日（火・祝）、午前１１時から、花巻温泉（ホテル紅葉館　１階　巌鷲の間）にて開催します。

地方自治功労

■元花巻市議会議員　照井（てるい）　明子（めいこ）　氏



平成１１年４月に花巻市議会議員として初当選して以来、連続７期２７年間、市議会議員を務めた。
議員在任中、総務、文教、福祉の各常任委員会委員を務め、文教福祉常任委員会では副委員長を務めたほか、岩手労災・県立大迫病院対策、議会改革検討、議会議員定数及び議員報酬調査検討、新花巻図書館整備などの各特別委員会に所属し、市勢の発展に尽力するとともに議会体制の構築に尽力した。
在任中は、北上地区広域行政組合議会議員、花巻地区広域行政組合議会議員、岩手中部水道企業団議会議員、花巻市都市計画審議会委員を務め、長年にわたり市勢の発展と地方自治の進展に寄与した功績は極めて顕著である。

■元花巻市議会議員　若柳（わかやなぎ）　良明（よしあき）　氏



平成１８年８月に花巻市議会議員として初当選して以来、連続５期２０年間、市議会議員を務めた。
議員在任中、福祉、産業建設の各常任委員会委員を務め、産業建設常任委員会では委員長を務めたほか、岩手労災・県立大迫病院対策、議会改革検討、広報広聴、新花巻図書館整備、議員報酬調査検討などの各特別委員会に所属し、市勢の発展に尽力するとともに、議会運営委員会委員長を務め、議会体制の構築に尽力した。
在任中は、岩手中部地区広域市町村圏事務組合議会議員、岩手中部広域水道企業団議会議員、岩手中部水道企業団議会議員、花巻市都市計画審議会委員を務め、長年にわたり市勢の発展と地方自治の進展に寄与した功績は極めて顕著である。

■元花巻市議会議員　藤原（ふじわら）　伸（しん）　氏



平成２６年８月に花巻市議会議員として初当選して以来、連続３期１２年間、市議会議員を務めた。
議員在任中、産業建設、福祉、総務の各常任委員会、議会運営委員会に所属し、総務常任委員会委員長を務めたほか、広報広聴、新花巻図書館整備の各特別委員会に所属し、市勢発展に尽力するとともに議会運営の円滑化に努めた。
令和４年８月から令和８年７月までは新市発足後、第７代花巻市議会議長として、議会の円滑な運営及び議会体制の構築に尽力した。
在任中は、北上地区広域行政組合議会議員、岩手中部水道企業団議会議員を務めるとともに、議会改革推進会議委員長や花巻市都市計画審議会委員を務めるなど、長年にわたり市勢の発展と地方自治の進展に寄与した功績は極めて顕著である。

【問い合わせ】　担当：総合政策部 総務課　電話：０１９８－４１－３５０７

教育文化功労

■前岩手工芸美術協会会長　菊池（きくち）　房江（ふさえ）　氏



２０代半ばから七宝の作品制作を始め、金属や樹脂を融合させた有線七宝パネルの光沢のある色彩や作品の持つエネルギーなどが高く評価され、数々の工芸美術展で入賞した。

平成４年に岩手工芸美術協会へ加入し理事に就任。事務局長、副会長を経て平成２４年４月から令和６年３月までの１２年間にわたり会長を務めた。この間、自身の制作活動を行いながらも、岩手芸術祭の審査員を務めるなど、岩手の工芸美術の発展と後進育成に尽力した。

また、石鳥谷町芸術文化協会会長及び花巻市芸術協会副会長のほか、花巻市文化会館運営審議会委員や花巻市萬鉄五郎記念美術館運営委員会委員も務め、長年にわたり市勢の発展と芸術文化の振興に寄与した功績は極めて顕著である。

民生安定功労

■前花巻地区交通安全協会石鳥谷支会長　佐藤（さとう）　健（けん）　氏



平成２０年４月から令和８年３月までの１８年間にわたり花巻地区交通安全協会石鳥谷支会長を務め、地域における交通安全思想の普及高揚、季節交通安全運動、季節交通事故防止運動、街頭啓発活動、自転車利用者の交通安全指導、交通弱者の園児・児童の保護活動、高齢者の交通安全対策等を積極的に推進した。

例年、９月には地域内を一周する「交通安全パレード」、１２月には地域内の飲食店を訪問する「飲酒運転撲滅キャンペーン」、定期的に花北青雲高等学校の生徒に参加を促し街頭啓発活動を実施するなど、交通秩序の確立と交通安全の実現に尽力した。

安全・安心なまちづくりに向けて、花巻地区交通安全協会の事業推進に大きく貢献し、長年にわたり市勢の発展と交通安全の向上に寄与した功績は極めて顕著である。